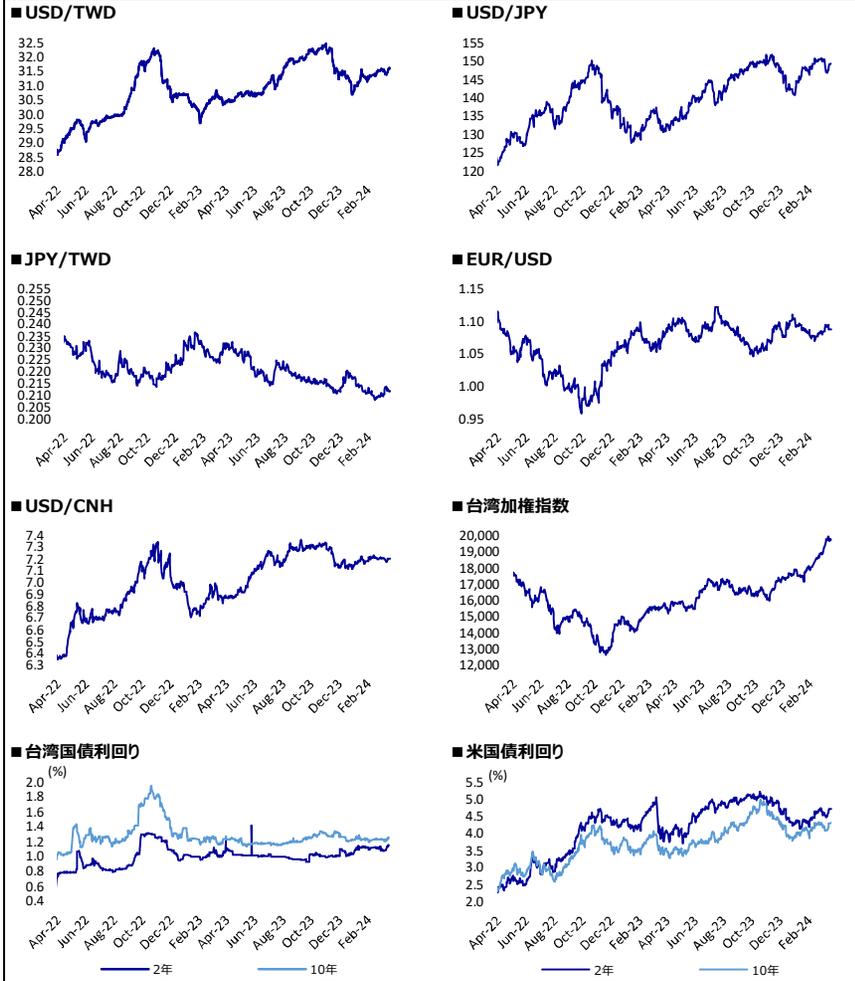


市場動向



先週の市場動向

■ USD/TWD
先週のドル/台湾ドルは上昇。週初3/11は31.480でオープン後、日銀によるマイナス金利解除観測がアジア通貨高をけん引し、31.40台前半で上値重く推移。3/12は外国人投資家による台湾株買い圧力の高まりを受けて、台湾ドル買いが優勢となり一時31.410まで下落した。3/13は前日海外時間に発表された米2月CPIが市場予想を上回る結果となったことを受けて31.40台後半まで上昇。3/14は米国早期利下げ期待が少しずつ剥落する中、ドル買いが進み31.50近辺で底堅く推移。3/15は前日海外時間に発表された米2月PPIが市場予想を上回る結果となったことを受けて、一段と米国早期利下げ織り込みを剥落させる展開に。米金利上昇が続く中、ドル買いが一段と加速し、一時31.640まで上昇した。最終的には前週比0.5%ドル高台湾ドル安の31.593で先週の取引を終了。週間の外国人投資家の株式売り越し額は30.2億台湾ドル。

■ USD/JPY
先週のドル/円は上昇。週初3/11は147.05でオープン後、日銀によるマイナス金利解除観測が根強く残存する中、円買いが優勢となり一時146.49まで下落。3/12は米2月CPIが市場予想を上回る結果となったことを受けてドル買いが進み、147円台後半まで上昇。3/13は日本の春闘において集中回答が集まる中、主要大企業より賃上げ要求に対する満額回答が示されたことを受けて、日銀によるマイナス金利解除観測が強まり、一時円買いが優勢に。しかし米インフレ率の高止まりを受けて米金利上昇が続く中、ドル買い圧力が根強く147円台後半で底堅く推移。3/14は発表された米2月PPIが市場予想を上回る結果となったことを受けて、米金利上昇、ドル買いが加速し148円台前半まで上昇。3/15は、20日のFOMCにおける政策金利見直し引き上げへの警戒感が高まりを見せ、米金利が一段上昇し、ドル買いが進む展開に。一時149.17まで上昇した。最終的には前週比1.4%ドル高円安の149.08で先週の取引を終了。

今週の見通し

■ USD/TWD 予想レンジ：31.450-31.750
今週はボラタイルながら上値の重い推移を見込む。中銀イベントを控え上下しやすいものの、FOMCで今後の利下げ見通しが維持された場合、長期的には米金利低下、ドル売りが優勢となるであろう。

■ USD/JPY 予想レンジ：145.00-148.00
今週はボラタイルながら上値の重い推移を推移を見込む。FOMCで今後の利下げ見通しが維持された場合、ドルが売られやすい他、日銀によるマイナス金利解除のが見られた場合、日米金利差の縮小が進みドル円は上値の重い展開となるであろう。また、日銀による今後の政策金利引き上げペースに関する情報に注目が集まる。

今週の予定

3/18 (MON)	
3/19 (TUE)	日銀金融政策決定会合、米2月新規住宅着工件数
3/20 (WED)	台湾2月輸出受注、FOMC
3/21 (THU)	日2月貿易収支、台湾中銀、米3月フィラデルフィア連銀製造業景況感指数
3/22 (FRI)	日2月CPI、台湾2月失業率

(Source) Thomson Reuters, Mizuho Bank

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。当資料に記載された内容は、事前連絡なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、お客さまご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず、無断で引用、複製することを禁じます。